

提言案に対するご意見			
No.	ページ	ご意見	委員名
1	1	「近年のデジタル化の進展は私たちの社会を大きく変革しつつある。こうした中、図書館もまた、変化が求められている。」の部分について、10年以内にデジタルネイティブの世代が台頭することについて追加していただけると図書館が変化していく必要性が一層伝わるのではないかと。	橋委員
2	1、22	「破壊的なイノベーション」の表記について、「破壊的な」はネガティブなイメージでとらえられることもあり、「革新的な」あるいは「先進的な」等他の言葉に置き換えられるか検討いただけるとよい。	橋委員
3	4	「ユニバーサルデザイン」は、今、よく使われる言葉で、なんとなくわかるが、注釈があってもよいのではないかと。	赤羽委員
4	6	「SNS」はさすがに注釈は必要ないのではと考える。	赤羽委員
5	6	「チャットボット」、「ブラウジング」、「デジタルブックシェルフ」は、注釈がほしい。	赤羽委員
6	7	「インターフェイス」もできれば注釈ありのほうがよいのではないかと。	赤羽委員
7	7	「国立国会図書館デジタルコレクション」は、注釈がなくても通じるのではないかと。	赤羽委員
8	7、8	「サイロ化」、「ディスカバリーサービス」、「ベンダー」、「パブリックドメイン」、「オープンデータ」などは注釈がほしい。「アーカイビング」もあってもよい。	赤羽委員
9	7、12	「OPAC」は、前にでてきているが、「OPAC（蔵書検索システム）」とあったほうが親切ではないかと。	赤羽委員
10	8	「館内だけでなく、島しょ部への」は、「館内だけでなく、島しょ部等への」としてはどうか。	古屋委員
11	8	「コンソーシアム参加自治体や島しょ部の」は、「コンソーシアム参加自治体や島しょ部等の」としてはどうか。	古屋委員
12	9	「DXの技術」は多少違和感があり、「デジタル技術を活用してDXを推進し」や「DXに活用される技術を用い」など他の言い方も検討いただけるとよい。	橋委員
13	17	「デジタルサイネージなどで海外の新聞記事を表示したり	新居委員

		ニュース映像を流したりすることなどが有効と考えられる。」を「母語保持の観点からも有効と考えられる。」にできるとよりよいのではないか。	
14	17	「そうした場に、PC やプリンターを設置し、スマートフォンなどでは解消できない課題の支援も有効である。」を「PC やプリンター、スキャナーなどを設置し、自宅等ではそのような機材購入できず、不便を感じている人達の課題の支援にも有効である」と加筆してはどうか。	新居委員
15	17	「図書館では、日本語を母語としない人を歓迎する雰囲気があることから、仕事帰りの外国人が図書館に集まってくる。そこでは、さまざまな情報交換がされている。また、パソコン使用が必須の行政手続きなどを、ボランティアの支援を受けながら行うことができる。他に、日本語を母語としない人を対象としたランゲージカフェなどの講座が開催されている。」の部分について、以下のようにしてはどうか。 「図書館では多様な言語や文化的背景をもったひとを歓迎する雰囲気があることから、外国人が図書館に集まってくる。そこでは、そのまちでの生活に必要な情報などを得られるような仕組みがあるとともに、様々な情報交換がされるとよい。また、パソコン使用が必須の行政手続きなどを、同じ言語や文化的背景を持つ人々が相互にボランティアと助け合うことができる。他に、日本語を母語としない人を対象としたランゲージカフェや日本語教育活動など言語や文化に関する多様な講座が開催されている。」	新居委員
16	17	「日本語以外を母語とする人のためのサインを「やさしい日本語」と英語中心に整備する。英語以外を母語とする人でも、英語からであれば自身のデバイス(スマホ等)での翻訳が容易であり、誤訳がすくない。ウェブ上の情報は一定程度、多言語化されているが、今後も引き続き「やさしい日本語」と英語を中心に積極的に情報を発信していく。」の部分について、繰り返しになっている部分を削除してはどうか。 「日本語以外を母語とする人のためのサインを多言語化をすすめていきつつ、まずは「やさしい日本語」と英語中心に	新居委員

		整備する。英語以外を母語とする人でも、英語からであれば自身のデバイス(スマホ等)での翻訳が容易であり、誤訳がすくない。」	
--	--	--	--